



令和 6 年 10 月 9 日
海上保安庁

日本提案の海底地形名が国際会議で承認

国際水路機関（IHO）とユネスコ政府間海洋学委員会（IOC）が共同で設置する「海底地形名小委員会（SCUFN）」において、我が国が提案した海底地形名 10 件（伊豆・小笠原弧中部）が承認されました。

令和 6 年 6 月 24 日（月）～28 日（金）の間、韓国（済州島）において SCUFN が開催され、令和 6 年 10 月 4 日（金）に審議の結果が公表されました。

今次会議において、我が国が提案した海底地形名 10 件が承認されました。承認された名称は、伊豆・小笠原弧中部の海底地形に付けられたもので、我が国の元号等に因んでいます（別紙参照）。

これらの海底地形名は、IHO/IOC 海底地形名集に掲載されることで世界中に周知され、今後、地図・海図や論文などに使われることとなります。

（参考）

海底地形名小委員会（SCUFN）

海底地形名小委員会（SCUFN）は、地図・海図や論文等に使われる世界の海底地形名を標準化するための学術的な委員会です。委員会は、12 名の専門家で構成され、令和 5 年末からは、海上保安庁の小原泰彦海洋研究室長が議長を務めています。

海底地形には、原則として、近傍地名、発見に関係した船名や機関名等、あるいは海洋学に貢献した故人に因んだ名称を付けることになっています。

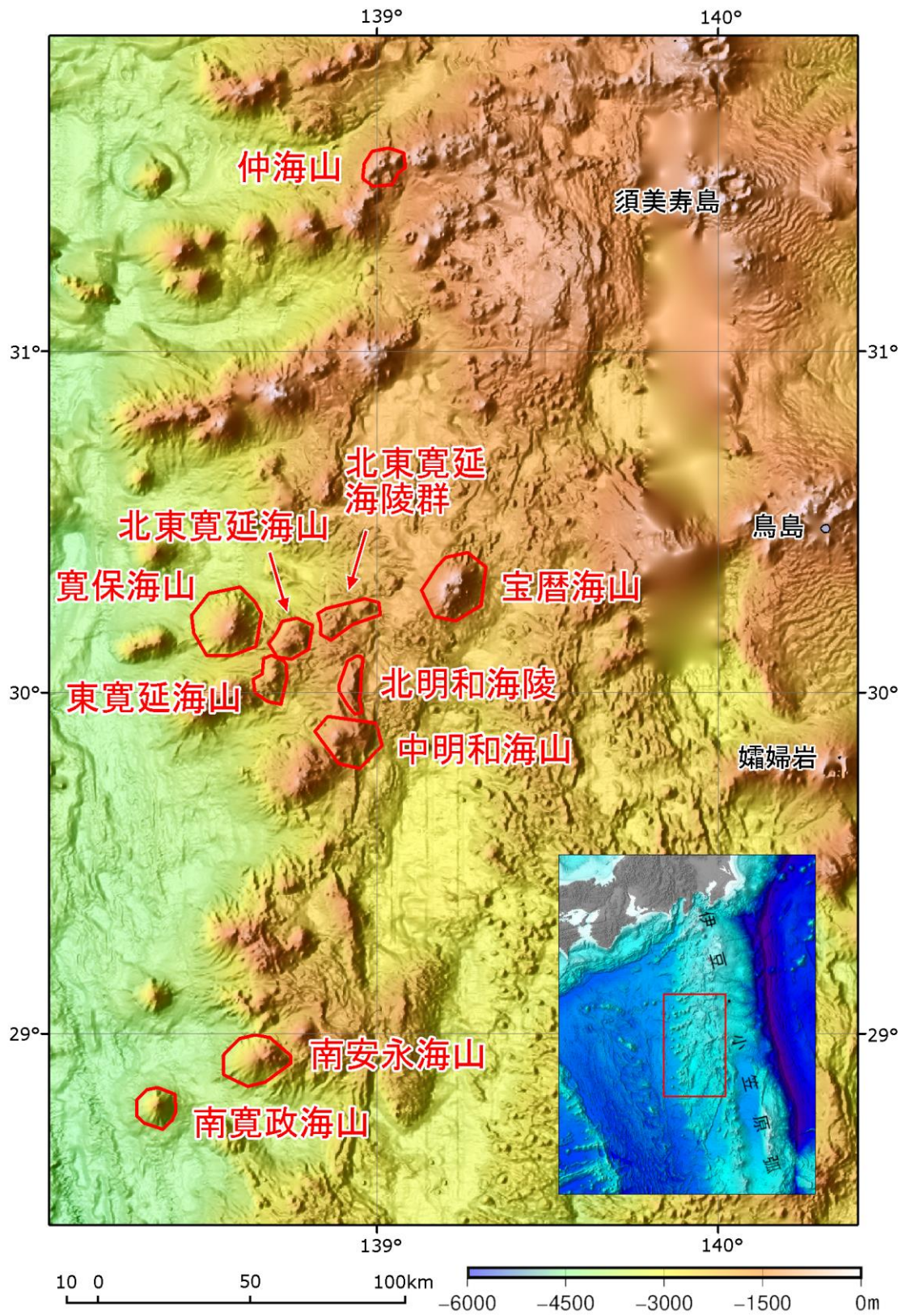
なお、我が国では、地形学、地質学、歴史学等の有識者で構成される「海底地形の名称に関する検討会」における検討を経て提案を行っています。

IHO/IOC 海底地形名集

IHO/IOC 海底地形名集は、SCUFN で承認された海底地形名等の国際的に標準化された地形名についての海底地形情報が登録されています。

IHO/IOC 海底地形名集は、下記 URL からご確認いただけます。

https://www.gebco.net/data_and_products/undersea_feature_names/



図：我が国が提案した海底地形名 10 件

1. 海底地形名の由来

(1) 元号

この付近は江戸時代の元号に因んで命名された海山が多数ある海域であり、宝暦海山、寛保海山については、宝暦および寛保の元号に由来し命名されました。

また、北東寛延海陵群、北東寛延海山、東寛延海山、北明和海陵、中明和海山、南安永海山、南寛政海山については、寛延、明和、安永および寛政の元号に由来し命名されたそれぞれの海山近傍にあることから命名されました。

(2) この海域にゆかりのある故人名

仲海山は、この海域における研究にゆかりを持つ故 仲二郎氏に因んで命名されました。

仲二郎氏は、有人潜水調査船「しんかい2000」（2002年に退役。海洋科学技術センター（当時）所有）を用いて伊豆・小笠原海域の海底火山調査を最初期から取り組んだ研究者で、沖縄トラフやハワイ周辺など、様々な海域における潜航調査を行った研究者です。

2. 海底地形名の基準

(1) 海山

比高 1,000m を超え、明確でほぼ均等な形状の海底の高まりのこと。

(2) 海陵

比高 1,000m 未満であり、不規則な形状をした明確な海底の高まりのこと。